環境経営レポート 2022

（2021.4.1-2022.03.31）

株式会社 神戸ポートリサイクル

2022/10/01 発行　VOL.7

INDEX

【ご挨拶】・【環境経営方針】 2

【組織の概要】 3

【事業紹介】 4

【処理フロー図】 5

【施設の概要及び許可】 6-7

【売上高及び処理量の推移】 8

【環境負荷の実績】 9

【環境経営目標及びその実績】 10

【エコアクション 21 組織図及び役割・責任・権限表】 11

【環境経営計画の取組とその結果】 12-19

【その他の環境活動報告】 20

【みどりの活動】 21-22

【環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果、並びに販促訴訟の有無】 23

【緊急事態対応訓練】 24

【教育関連】 25

【代表者による全体の評価と見直し・指示】 26

【ご挨拶】

代表取締役　寄尾　延夫

廃棄物問題の取り組みは、いまや環境汚染の防止のみならず、資源問題と併せて論じられるようになってきました。

すなわち、廃棄物を有用な資源へと転じる「資源循環システム」の構築です。

こうした資源循環型社会へのニーズを背景に、弊社は、神戸市によって策定された環境政策「エコテック 21 構想」のモデル事業として、民間 10 社の出資の下、2002 年 4 月に設立されました。

また、神戸港が国土交通省による総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に一次指定されたことにより、港湾のバース隣接地におけるリサイクル施設となっています。

施設の最大の特徴は、バースに隣接していることです。

車よりも環境への負担が小さい海上輸送を容易に行なえるため、現在、国が進めるモーダルシフトにも大きく貢献できることでしょう。

港湾という特色ある立地を活用しつつ、リサイクル事業の発展とともに地球環境に、社会に、貢献できる事業展開を図ってまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　私たちの約束　大栄環境グループはSDGsの達成のため社会に貢献します

【環境経営方針】

1.環境関連法規、地域の条例・協定を遵守し、コンプライアンスを実現するとともに、地域社会とのコミュニケーションを図り事業を展開していきます。

2.廃棄物の適正処理・リサイクル及び、事業系一般廃棄物の排出量削減に努めます。

3.社有車・重機類の経済的運転及び、電力消費量の抑制により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。

4.水資源の節約に努めます。

5.場内緑化及び場内外美化活動を推進し、緑豊かで清潔な事業所づくりに取組みます。

6.災害時における、災害廃棄物処理対応に貢献できるよう努めます。

7.全ての取組において、スパイラルアップ（継続的改善）に努めます。

8.環境経営方針は、全従業員に周知するとともに、社内外に公開します。

制定：２０１５年４月１日
改訂：２０２０年４月１日
株式会社　神戸ポートリサイクル
代表取締役　寄尾　延夫

【組織の概要】

事業所名	株式会社　神戸ポートリサイクル
所在地	兵庫県神戸市中央区港島九丁目１３番地
連絡先	TEL（078）- 303 - 0505
	FAX（078）- 303 - 0607
会社ホームページ	https://kpr-japan.com/
創立年月日	2002 年 4 月 15 日
代表者	代表取締役　寄尾　延夫
資本金	8,550 万円
事業期間	４月～翌年３月末
従業員数	32 名（男性：26 名　女性：6 名）2022.3.31 現在
環境管理責任者	代表取締役　寄尾　延夫（兼任）
ＥＡ２１事務局	メフタ　恵美・佐藤　守・小松　昭宏・庄野　明・橋本　志帆
事業内容	産業廃棄物の中間処理業務
（認証範囲）	産業廃棄物の収集運搬業務
	一般廃棄物の中間処理業務
株主構成	大栄環境株式会社　井本商運株式会社　住井運輸株式会社
	共栄株式会社　株式会社神戸製鋼所
	株式会社シマブンコーポレーション　日鉄物流株式会社

【事業紹介】

木くず処理施設

破砕機

選別機

破砕選別処理施設

破砕機

選別機

廃プラスチック処理施設

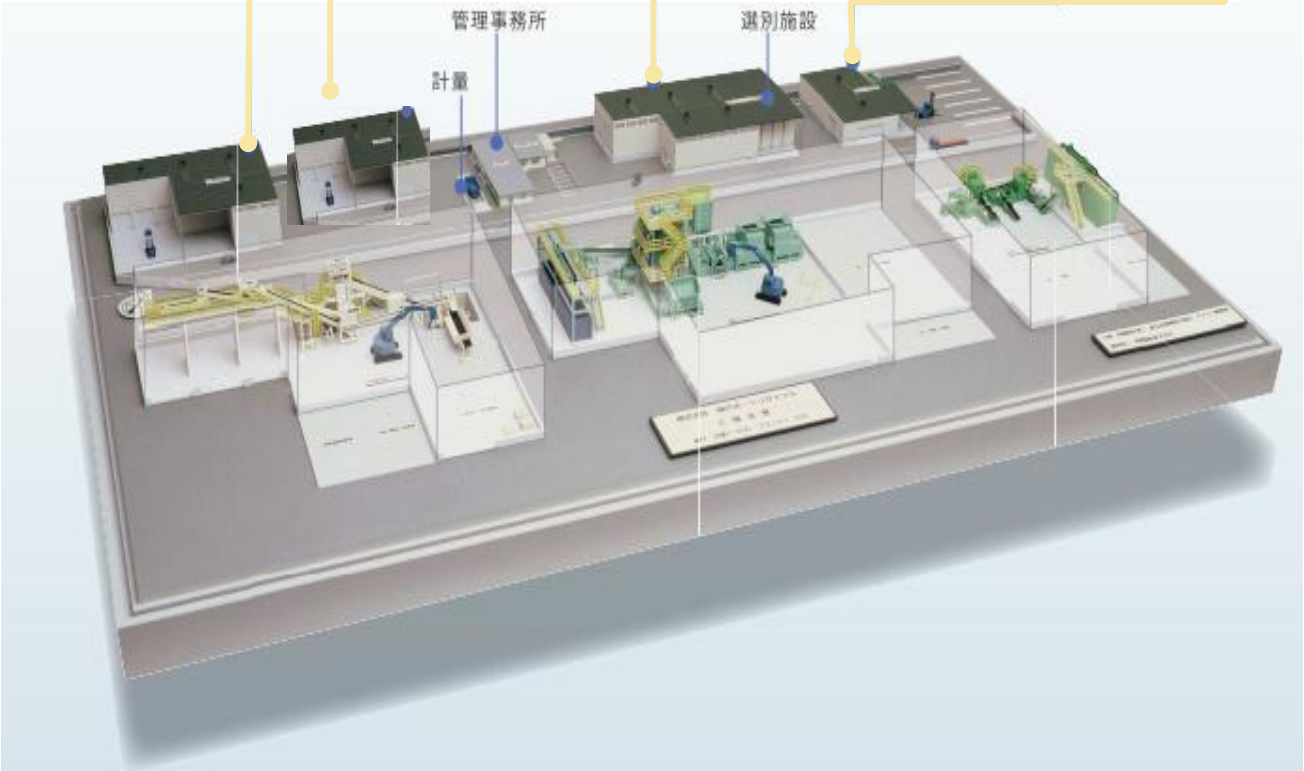
定量供給機

減容固化機

廃タイヤ処理施設

タイヤ破砕機

タイヤ破砕機



【処理フロー図】

許可品目一覧

許可品目		中間処理	収集運搬			
		神戸市	神戸市	兵庫県	大阪府	京都府
産業廃棄物	廃プラスチック類	○	○	○	○	○
	木くず	○	○	○	○	○
	紙くず	○	○	○	○	○
	金属くず	○	○	○	○	○
	ゴムくず	○	○	○	○	○
	ガラス陶磁器くず	○	○	○	○	○
	繊維くず	○	○	○	○	○
	がれき類	○	○	○	○	○
一般廃棄物	木くず	○				

【施設の概要及び許可】

	産業廃棄物	一般廃棄物
施　設　の　種　類	①　廃プラ破砕施設　（許可番号：第 2046 号、第 2047 号） ②　木くず破砕施設　（許可番号：第 2045 号） ③　廃タイヤ破砕施設（許可番号：第 2043 号、第 2044 号） ④　減容固化施設　（届出受理番号：第 1080 号） ⑤　混合破砕選別施設　（許可番号：第 1226 号、第 2078 号）	②木くず破砕施設 （許可番号： 第 1509 号）
処　理　能　力	①　36.0 t /日（廃プラスチック類） ②　45.6 t /日（木くず） ③　24.0 t /日（廃プラスチック類） ④　16.0 t /日（廃プラスチック類） ⑤　※①～⑧品目別の処理能力 ※①　179.92t/日(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類) ※②　154.24t/日(紙くず) ※③　282.80t/日(木くず) ※④　61.60t/日(繊維くず) ※⑤　267.36t/日(ゴムくず) ※⑥　688.88t/日(金属くず) ※⑦　609.60t/日(ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず) ※⑧　902.32t/日(がれき類)	②45.6 t /日
廃　棄　物　の　種　類 （　許　可　品　目　）	①　廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、紙くず、繊維くず、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず ②廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、紙くず、木くず、繊維くず、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず ③　廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ④　廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、紙くず、木くず、繊維くず、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず ⑤　廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、紙くず、木くず、繊維くず、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類	②木くず

許可内容

管轄	優良認定	許可証	許可番号	許可年月日	許可有効年月日
神戸市	🎖	産業廃棄物処分業	第 6920098859 号	2003 年　2 月 13 日	2023 年 5 月 10 日
神戸市	—	一般廃棄物処分業	神戸市許可一廃第 44 号	2019 年　3 月　2 日	2023 年 3 月　1 日
神戸市	🎖	産業廃棄物収集運搬業	第 6910098859 号	2003 年 12 月 10 日	2023 年 5 月 10 日
兵庫県	🎖	産業廃棄物収集運搬業	第 02801098859 号	2003 年　1 月　8 日	2023 年 5 月 18 日
大阪府	🎖	産業廃棄物収集運搬業	第 02700098859 号	2016 年　7 月 25 日	2023 年 7 月 24 日
京都府	—	産業廃棄物収集運搬業	第 02600098859 号	2018 年　10 月　2 日	2024 年 10 月 1 日

積替保管施設

積替え･保管場所	積替保管面積	保管上限	品　目
神戸市中央区港島九丁目 13 番地	114 ㎡	160.8 ㎡	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ｺﾞﾑくず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類

収集・搬出運搬車両

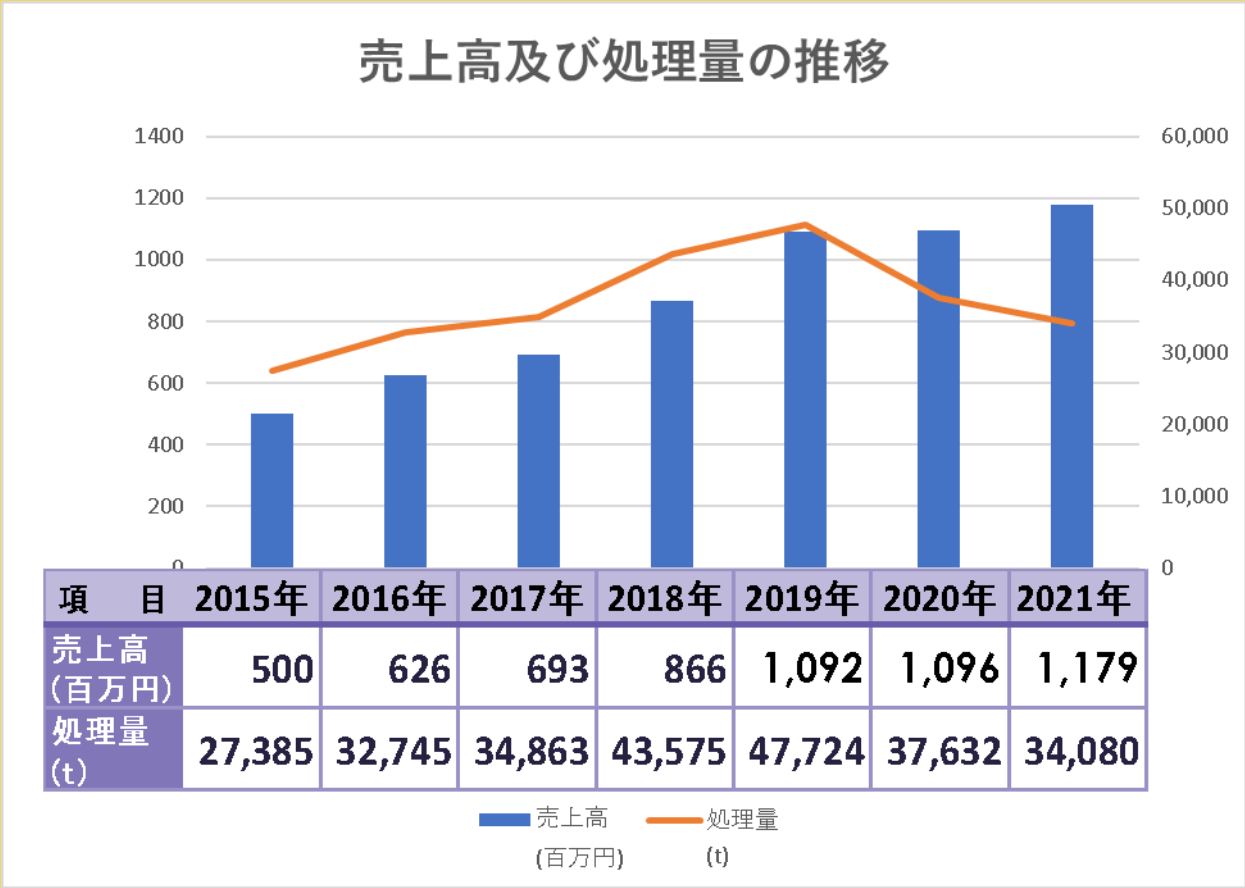
車両形式	台数	最大積載量	環境保全対策
キャブオーバ（平ボディ車）	1 台	3,950kg	シートにて飛散防止
キャブオーバ（ユニック付）	1 台	2,000kg	シートにて飛散防止
バン（ウイング車）	1 台	2,950kg	密閉式
脱着装置付コンテナ専用車	1 台	3,750kg	シートにて飛散防止
2 t ダンプ	1 台	2,000kg	シートにて飛散防止
1.5 t ダンプ	1 台	1,500 kg	シートにて飛散防止
25 t ダンプ	4 台	10,300 kg	シートにて飛散防止

重機の一部ご紹介

車両形式	クラス	台数
ユンボ	0.45 ㎥	3 台
	0.7 ㎥	1 台
	0.25 ㎥	1 台
ショベルローダー	1.8 ㎥	2 台
フォークリフト	3.5 t	1 台
フォークリフト	1.5 t	1 台

【売上高及び処理量の推移】

項　目		単位	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
売　上　高		百万円	626	693	866	1,092	1,096	1,179
従　業　員　数		名	21	21	21	23	28	32
敷　地　面　積		㎡	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592
延　床　面　積		㎡	2,909	2,909	2,909	2,909	2,909	2,909
廃棄物処理量	産業廃棄物処理量	t	32,730	34,850	43,567	46,873	36,933	32,408
	一般廃棄物処理量		15	13	8	851	699	839
	処分量合計		32,745	34,863	43,575	47,724	37,632	33，241
	収集運搬量		4,032	4,549	4,706	4,228	3,445	2,953



項　目	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
売上高(百万円)	500	626	693	866	1,092	1,096	1,179
処理量(t)	27,385	32,745	34,863	43,575	47,724	37,632	34,080

【環境負荷の実績】

項　目		単位	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
CO_2排出量		Kg-CO_2	353,540	374,680	368,306	333,027	418,333	656,353
ガソリン	総使用量	ℓ	2,699	2,349	1,998	1,474	1,379	1,082
	CO_2排出量	Kg-CO_2	6,266	5,454	4,639	3,422.4	3,202	2,509
軽油	収集運搬車両使用量	ℓ	23,162	30,366	34,942	33,719	32,506	26,851
	CO_2排出量	Kg-CO_2	60,785	79,689	91,699	88,489	85,306	70,465
	搬出運搬車両使用量	ℓ	—	—	—	—	—	93,082
	CO_2排出量	Kg-CO_2	—	—	—	—	—	244,279
	重機使用量（GTL）	ℓ	39,326	56,579	56,393	78,108	80,719	48,886
	CO_2排出量	Kg-CO_2	103,205	148,483	147,994	184,334	211,807	115,371
重油	総使用量※①	ℓ	22,942	7,597	1,060	—	—	—
	CO_2排出量	Kg-CO_2	62,164	20,585	2,872	—	—	—
灯油	総使用量※②	ℓ	138	27	73	68	48	—
	CO_2排出量	Kg-CO_2	343	66	182	168	120	—
電気	購入電力量※③	kWh	234,975	234,246	235,252	225,221	232,509	635,707
	CO_2排出量※④	Kg-CO_2	120,777	120,402	120,920	115,763	119，510	223,768
一般廃棄物排出量※⑤		kg	143	150	132	118	115	114
水使用量※⑥		㎥	1,984	1,618	1,331	2,091	1,823	2,309

※小数点以下四捨五入しています。
※①2018 年 6 月以降重油の使用がなくなった為軽油使用
※②2015 年度以前は購入量、2016 年度以降は実使用データで取り組み。2021 年度からは維持管理に切替えました。使用なし
※③2016 年度以降は自社記録データ電力量（毎日従業員で計測）で取組（2016 年 7 月、子メーター10 基設置）
※④CO^2排出係数は 2022 年度環境省公表数値 0.352 ㎏-CO^2/ｋWh を用いて算出
※⑤対象は厨芥ゴミ　※⑥自社記録データ使用量（毎日従業にて計測）で取組

【環境経営目標及びその実績】

	2021 年 4 月～2022 年 3 月					中長期目標		
	目　標			実　績	評価	2022 年度	2023 年度	2024 年度
二酸化炭素排出量削減	社有車　燃費の向上（ガソリン）							
	2019 年度 実績値比 0.2%向上	燃費(km/ℓ)	15.21	14.81	×	2019 年度 実績値比 0.3%削減	2019 年度 実績値比 0.4%削減	2019 年度 実績値比 0.5%削減
		CO_2排出量 (kg-CO_2)	3,415.4	2,510.9	×			
	収集運搬車両　燃費の維持管理（軽油）							
	2019 年度 実績値比	平均燃費より下限 1σ (km/ℓ)	6.04	全月上回る	○	2019 年度 実績値比 0.3%向上	2019 年度 実績値比 0.4%向上	2019 年度 実績値比 0.5%向上
		CO_2排出量 (kg-CO_2)	88,312	70,465	○			
	搬出運搬車両　燃費の向上（軽油）							
	2019 年度 実績値比 0.2%向上	燃費(km/ℓ)	2.68	2.68	○	2019 年度 実績値比 0.3%向上	2019 年度 実績値比 0.4%向上	2019 年度 実績値比 0.5%向上
		CO_2排出量 (kg-CO_2)	309,079	244,280	○			
	重機　燃料使用量の削減（GTL）							
	2019 年度 実績値比 0.2%削減	燃料使用量 (ℓ)	77,952	48,886	○	2019 年度 実績値比 0.3%削減	2019 年度 実績値比 0.4%削減	2019 年度 実績値比 0.5%削減
		CO_2排出量 (kg-CO_2)	183,966	115,371	○			
	電気　使用量の削減　（CO_2排出係数は 2020 年度数値 0.352 kg-CO_2/kWh）							
	2019 年度 実績値比 0.2%削減	事務所使用電力（kWh）	31,786.0	27,115.9	○	2019 年度 実績値比 0.3%削減	2019 年度 実績値比 0.4%削減	2019 年度 実績値比 0.5%削減
		CO_2排出量 (kg-CO_2)	11,188.6	9,544.8	○			
		処理施設使用電力(kwh)	192,984.5	608,443.3	×			
		CO_2排出量 (kg-CO_2)	67,930.5	214,172.0	×			
上水道使用量削減	上水　使用量の削減							
	2019 年度 実績値比 0.2%削減	上水使用量 (ℓ)	2,086.4	2,309.0	×	2019 年度 実績値比 0.3%削減	2019 年度 実績値比 0.4%削減	2019 年度 実績値比 0.5%削減
廃棄物排出量削減	受託廃棄物の　再資源化率　を向上させ、廃棄物排出量を抑制							
	全体 23%以上	再資源化率 (%)	24.0	22.7	×	全体 25%以上	全体 26%以上	全体 27%以上
	事業系一般廃棄物　の排出量を削減							
	2019 年度 実績値比 0.2%削減	事業系一廃排出量（kg）	118.2	113.7	○	2019 年度 実績値比 0.3%削減	2019 年度 実績値比 0.4%削減	2019 年度 実績値比 0.5%削減
	用紙類 の排出量を削減							
	2019 年度 実績値比 0.2%削減	ｺﾋﾟｰ用紙使用枚数（枚）	52,080	80,758	×	2019 年度 実績値比 0.3%削減	2019 年度 実績値比 0.4%削減	2019 年度 実績値比 0.5%削減
	場内緑化・場内外美化活動の推進による緑豊かで清潔な事業所づくり							
	草花の栽培及び場内外の美化活動の計画と実施	実施		○	草花の栽培及び場内外の美化活動の計画と実施			

【エコアクション 21 組織図及び役割・責任・権限表】

2021/04/01

	役割・責任・権限
代表者（社長） 環境管理責任者	環境経営方針の策定及び見直し。 人的資源及び専門的な技能、技術、資金の準備並びに配分。 環境経営管理責任者・EA21 委員の任命。EA21 マニュアルの承認。 環境経営目標・環境経営計画書・実績一覧表の承認。 環境経営目標の取組評価と今後の具体策の承認。 EA21 委員会への出席及び議題の審議。環境経営レポートの確認・承認。 環境への取組の自己チェック評価の承認。 環境教育訓練計画の承認。緊急事態の承認。環境関連法規順守状況の承認。 問題点是正処置に関する承認。 環境コミュニケーションの対応に関する承認。
ｴｺｱｸｼｮﾝ事務局	環境への負荷の自己チェックの作成・環境への取組の自己チェックの作成。 環境経営目標一覧の作成。 環境経営活動計画、環境経営活動計画実績一覧表の取りまとめ。 環境経営目標の取組評価と今後の具体策の取りまとめ。 事業所全体に関わる環境経営教育訓練計画の策定及び実施。 事業所全体に関わる緊急事態の特定。EA21 マニュアルの作成及び維持管理。 環境関連法規の取りまとめ特定、監視及び評価。 文書、記録の管理。環境経営レポートの作成。 等々
ｴｺｱｸｼｮﾝ委員会 （各ｸﾞﾙｰﾌﾟ責任者）	各担当グループの環境経営システム全般を維持・管理する。 目標計画の策定。環境経営教育訓練の策定及び実施。 緊急事態の特定。EA21 委員会への出席及び議題の審議、議事録作成。 問題点是正処置の実施。 等々
取組項目担当者	環境経営活動計画の実施及び是正・改善を遂行。 環境関連法規の遵守・実施及び監視・評価。
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を認識し、自主的・積極的に環境活動へ参加。

【環境経営計画の取組とその結果】

ゴミの削減 PDCA

プラン（計画）

厨芥ごみ 2019 年度実績の 0.2%削減：118.2 kg/年

P

① 掲示物等での一般ゴミの分別徹底及び各重量の把握

② 細かい分別チェックによる事業系一般廃棄物の削減の呼び掛け強化

③ 段ボール・紙ゴミ・アルミ缶・ペットボトル等のリサイクル品の分別強化

ドゥ（実行）

D

・事務所のゴミ箱周りに新たにポスターを作成・掲示しました。

・社内のネットワーク等で、分別を呼びかけ社員の意識向上に努めました。

・厨芥ゴミ箱をチェックし、分別できるものは再度拾い上げ分別していきました。

チェック（確認）

C

・社員の増加により厨芥ゴミは増加傾向にありましたが、社員全員の意識により、年間で達成することができました。

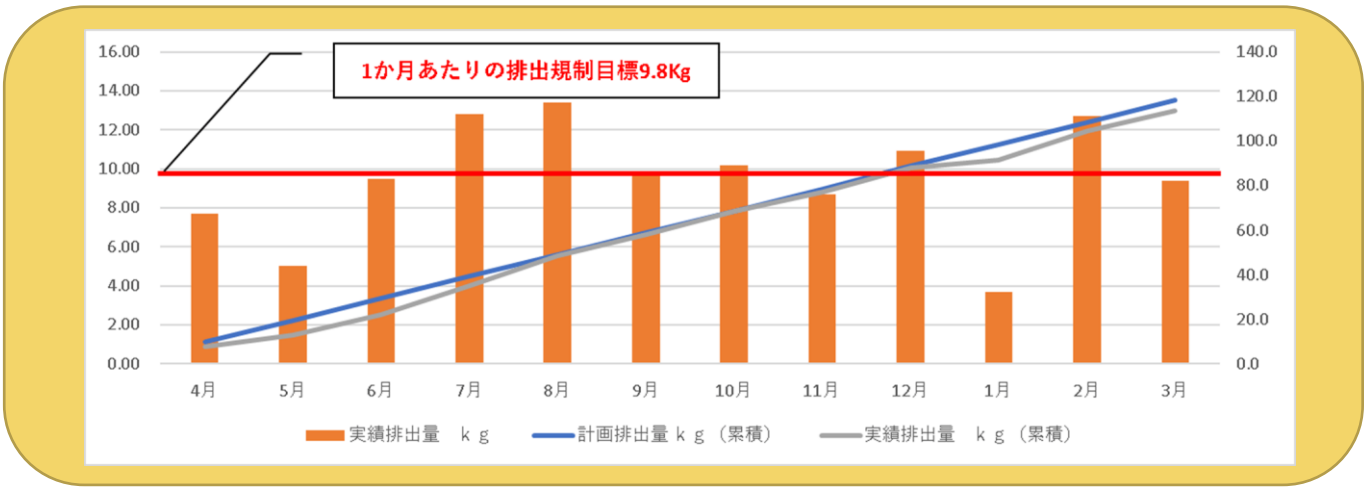
アクション（行動・改善）

A

2022 年度は、以下の項目を徹底していきます。

① 従業員数が増加に伴い、再度分別教育の徹底と強化

② 分別ボックスの中身を確認し、月例の内部コミュニケーション会議にて随時報告



社有車燃費向上

PDCA

プラン（計画）

2019 年度燃費の 0.2%削減：15.21 km/ℓ

① 2019 年実績値 0.2%以上の燃費向上

② 正確で丁寧な運転日報の記入

③ エコタイヤ等燃費グッズを活用したドライバー毎の燃費変化の調査実施

ドゥ（実行）

・各車とも急加速・急ブレーキを控え、エアコン使用も限度まで節約し目標達成に頑張りました。

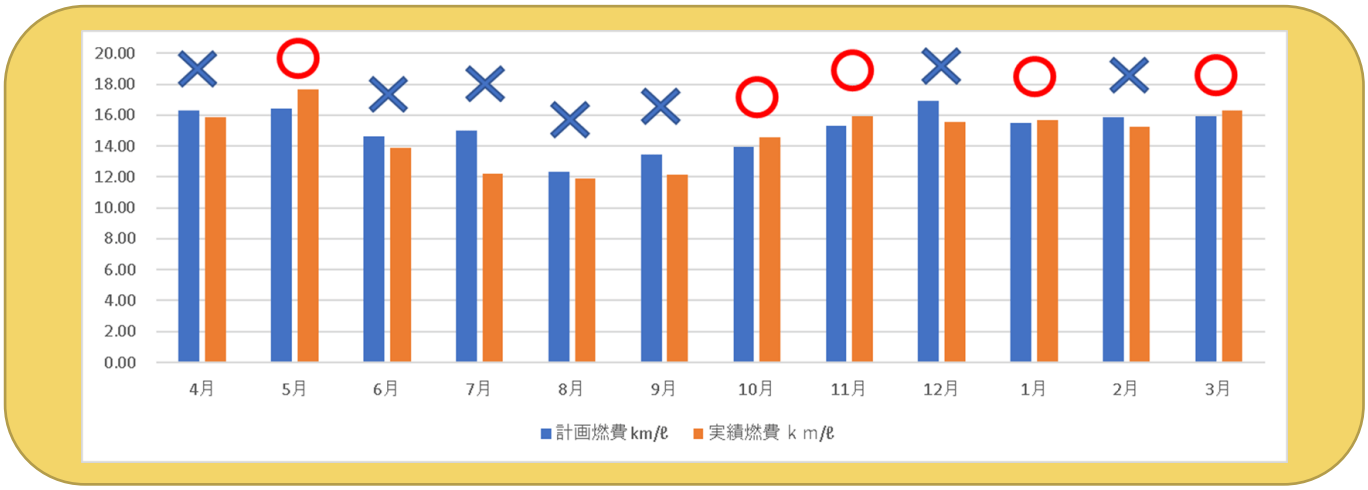
・最低月に 1 回の空気圧のチェックを欠かさず行いメンテナンスによる悪燃費を軽減しました。

チェック（確認）

・夏場 7 月以降、最高気温が 30℃超過の日が多く熱中症防止の為、エアコンの使用は体調管理を優先させあまり意識はしませんでしたので、結果目標は達成できませんでした。車は年々老朽化していき、だんだんと燃費向上は、むずかしくなっていきます。エコ運転だけでは、限界がありそうです。未達成ではありますが、目標を 97%達成できたのはみんなの努力のおかげだと思います。

アクション（行動・改善）

・各車両、燃費は頭打ちとなっています。エコドライブだけでは燃費の向上には限界があります。次年度は予算をとってもらい古い車両から順次エコカーに乗り換えを検討してもらえるよう、限界まで燃費向上に有効な方策を探していきます。



電気使用量の削減

PDCA

プラン（計画）

厨芥ごみ 2019 年度実績の 0.2%削減：118.2 kg/年

P

① 事務所・現場の電気使用量(電灯・動力)の記録による推移の把握

② エアコンの温度の管理徹底

③ 夏➡クールビズ、冬➡ウォームビズ、灯油併用によるエアコン使用量の削減

③退社時の消灯チェックの徹底と、ノー残業デイの強化

ドゥ（実行）

D

①毎月 15 日に中間チェック、節電を呼びかけました。

②エアコンの徹底管理（オフィス内に 2 か所湿度計・温度計を設置）

③パソコンスリープ、お昼休憩、退社時の自席の消灯を呼びかけました。

★キッチンのお弁当保温庫・電気ポットも切り忘れ防止のため自動オンオフスイッチ取り付けました。

★従業員に注力してもらうよう、社内掲示 POP を手書きで作成しました！

チェック（確認）

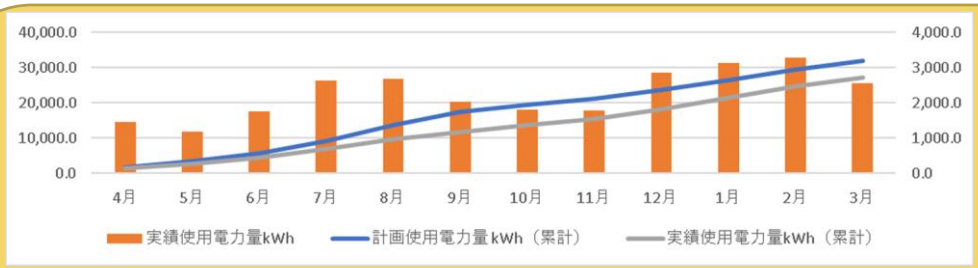
C

年度後半は、人員が基準年の 2019 年より 7 名増員、パソコン 11 台増大したことにより、未達が続いたと考えられます。増員、増大分の計算し差し引くと、ほとんどの月が達成出来ている計算になります。

アクション（行動・改善）

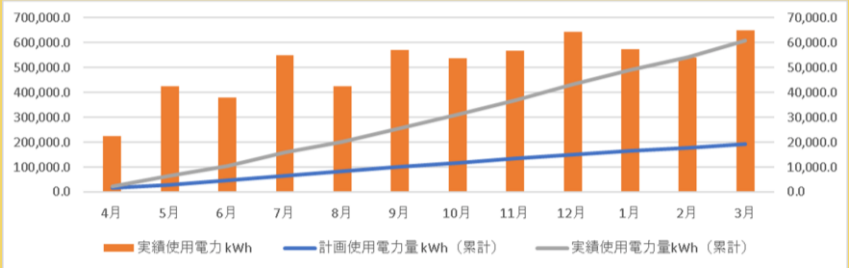
A

初夏のエアコン使い方➡気温、湿度のチェックを怠らず、冷房・ドライ・送風の使い分け、換気扇の切り忘れ、冷蔵庫の閉め忘れ等、呼びかけ・確認を徹底します。



[事務所電力]

[処理施設電力]



紙の削減
PDCA

プラン（計画）　コピー用紙の使用 2019 年度実績の 0.2%削減：52,080 枚/年

P

①コピー機（複合機）のカウンター数の管理
②コピー用紙使用枚数･印刷枚数の記録による推移の把握（印刷コストの周知）
③裏紙再利用の促進及び　集約･両面･縮小印刷への変更の呼び掛け
④文書･資料等の電子データ化（ペーパーレス）への推奨

ドゥ（実行）

D

・ 毎月月末にコピー機の印刷カウント、用紙の使用枚数を把握し、コストを周知しました。
・ 社内利用の印刷物に関しては徹底した裏紙の使用に努めました。

不要なコピー用紙回収の呼びかけを行い少しでもコピー用紙使用の削減に繋げることができました。

チェック（確認）

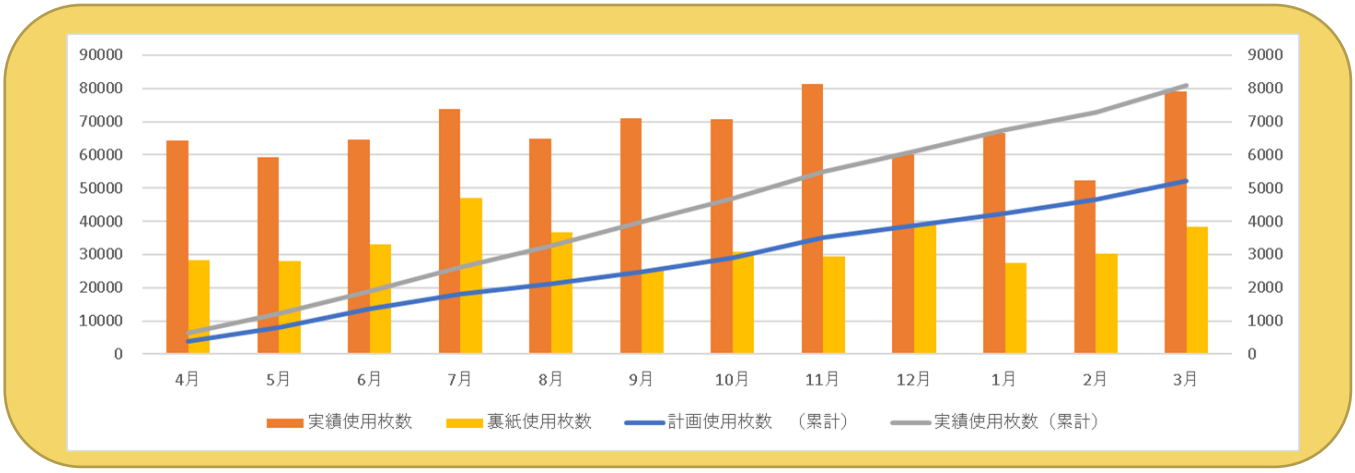
C

組織体制等の変更で重要な印刷物の増加が発生した為、年間を通して達成ができませんでした。
しかし、裏紙が足りなくなるほど裏紙印刷の活用をして頂いているので、削減意識は出来ていると判断します。印刷前にコピー機画面でチェック、ミスプリントも減りました。

アクション（行動・改善）

A

用紙の削減ももちろんですが、集約印刷の活用を強化･カラーコピーの削減等に力をいれてコスト面での削減にも取り組みます。



水使用量の削減

PDCA

プラン（計画）

2019 年度実績の 0.2%削減：2086 ㎥/年

P

① 朝礼当番による、毎日の水道メーター検針、日々の使用量確認

② 朝礼当番による、終業後の蛇口閉め忘れパトロール強化

③ 処理施設の散水量・生活用水量の把握

④ 節水呼び掛け

4㎥×2 雨水タンク

ドゥ（実行）

D

・水道メーター記録表をチェックし、使用量に大きく変化がないか確認をしました。

・各施設(破砕選別施設・プラヤード)、の上水使用量を把握し、大幅に使用量が増えた原因追及などを行いました。

また、現場の方にしっかりと声掛けをし、雨水の利用促進も行いました。

チェック（確認）

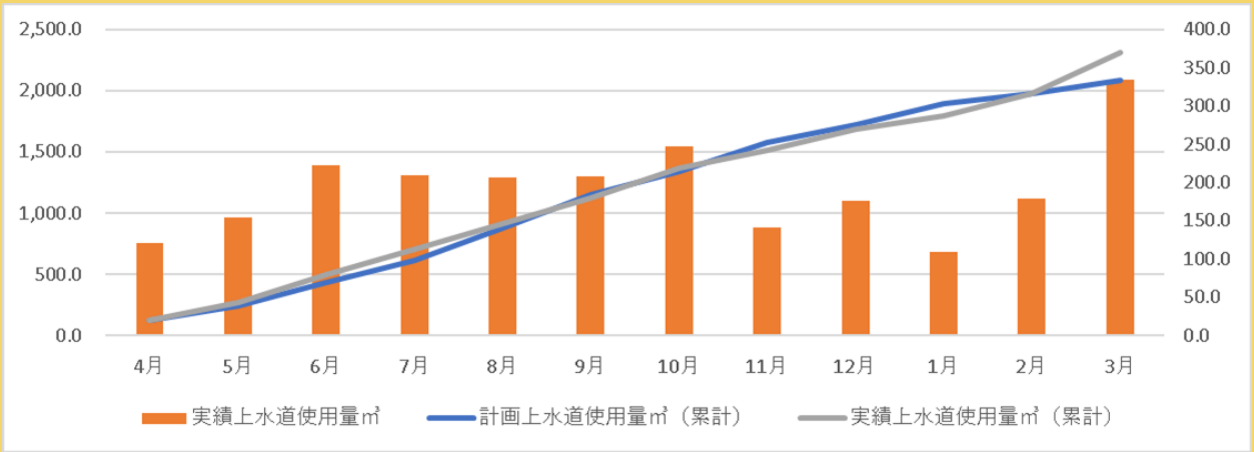
C

新たに増設した破砕処理施設の散水の使用が発生した為、大幅に使用量が増え、年間通して未達成となりました。散水用メーターを後付けで設置したことにより今後は適正な使用量を管理することができました。

アクション（行動・改善）

A

現場での節水はもちろんですが、事務所内でも節水を呼び掛ける掲示物を作成し、個々に会社でも自宅でも意識していただくよう努めます。



収集・搬出車両の燃費向上

PDCA

【収集運搬車両】

プラン（計画）

2019 年度の燃費平均値から 1 シグマ分を引いた値［km/L］
※シグマ(標準偏差σ：2019 年度燃費データのばらつき)

P ①燃費に関しての最低厳守ラインを設定、及びその水準を下回った場合の要因分析
※2020 年度燃費をほぼ毎月達成している状況を受けて目標管理から維持管理に切替え

ドゥ（実行）

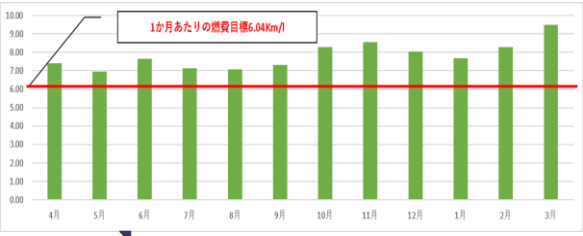
D 2020 年度の実績から最低厳守ラインを算出し、その数値をドライバーに周知するとともに各車両に掲示しました。

チェック（確認）

C まれに最低ラインを下回るケースがありましたが、前月の給油忘れなど、実質的に燃費が悪化したケースはありませんでした。

アクション（行動・改善）

A 引き続き 2022 年度も同様の取組みを続けようと考えています。



【搬出運搬車両（25 t トラック）】

プラン（計画）

2019 年度実績の 0.2%向上：2.68km/ℓ

P ① 運行に係る経費削減を狙いとした、処分場までの搬出車両の高速代の低減

ドゥ（実行）

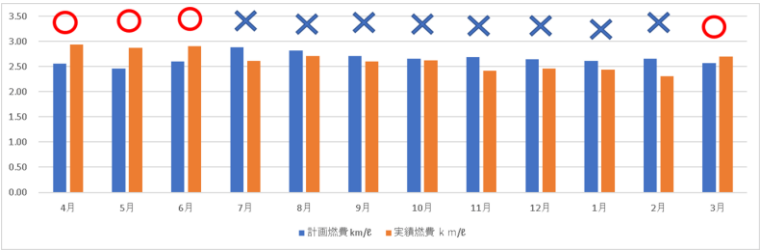
D 2021/6 月に 25 t ダンプ 1 台で高速を使わず下道走行をするテスト運用を 1 か月間実施し、削減効果とリスクを確認した後、7 月以降 4 台全車で運用開始しました。

チェック（確認）

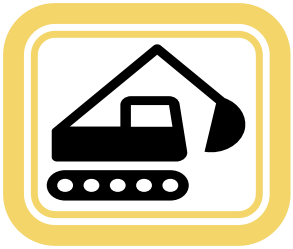
C 7 月～12 月で 220 万円の削減を達成しました。

アクション（行動・改善）

A リスクを共有しつつ、無理のない範囲で削減の目標金額を決め、取組みを続けたいと考えます。



重機の燃費向上
PDCA



プラン（計画） 2019 年度実績の 0.2%削減：69,113ℓ/年

① アイドリングストップの実施
② 搬入量に見合った効率の良い運用による重機の使用
③ 重機の日常メンテナンスの実施
④ エコドライブの推進、実施

P

ドゥ（実行）

D

・今期より馬力の大きな重機（4 台）に目標設定を絞りその他の重機に関しては日常管理とし、事業所で 25 t 搬出車両に次ぐ CO２排出量である重機の徹底管理に努めました。

チェック（確認）

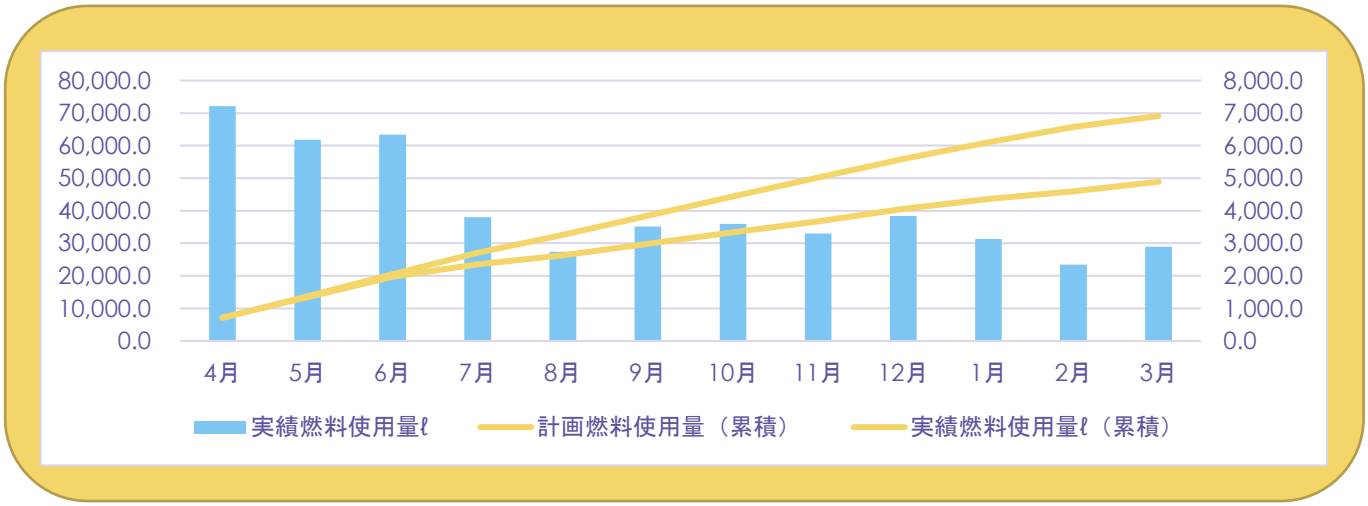
燃料使用量を前年度実績と比較し、燃料給油量を大きく削減する事ができましたが、対象重機の現場での使用方法が前年度と異なった為、比較対照するには無理がありました。

C

アクション（行動・改善）

重機を特定せず、全ての重機に使用される燃料使用量を削減する取り組みを行います。

A



再資源化率の向上

PDCA

プラン（計画）

再資源化率 24%/通年

P

① 朝礼時の再資源化強化　呼び掛け実施

② 廃棄物・有価物・選別方法　等に関する指導、教育の徹底

③ 搬入物の性状に見合った、　車両・重機の誘導の徹底

④ 石膏ボード（古材）の回収率向上のための取組実施

ドゥ（実行）

D

下期は搬入量は増加でありましたが、再資源化率は連続的に未達成。繁忙期の搬出制限や搬入物の受入制限があり未達成になりました。営業部へ再資源化が図れる物の営業強化をお願いし、又「石膏ボードの回収率向上」を目標に、現場作業員の教育・指導の強化に努めました。

現場の作業環境も一工夫するだけで変化はあらわれると思われます。

チェック（確認）

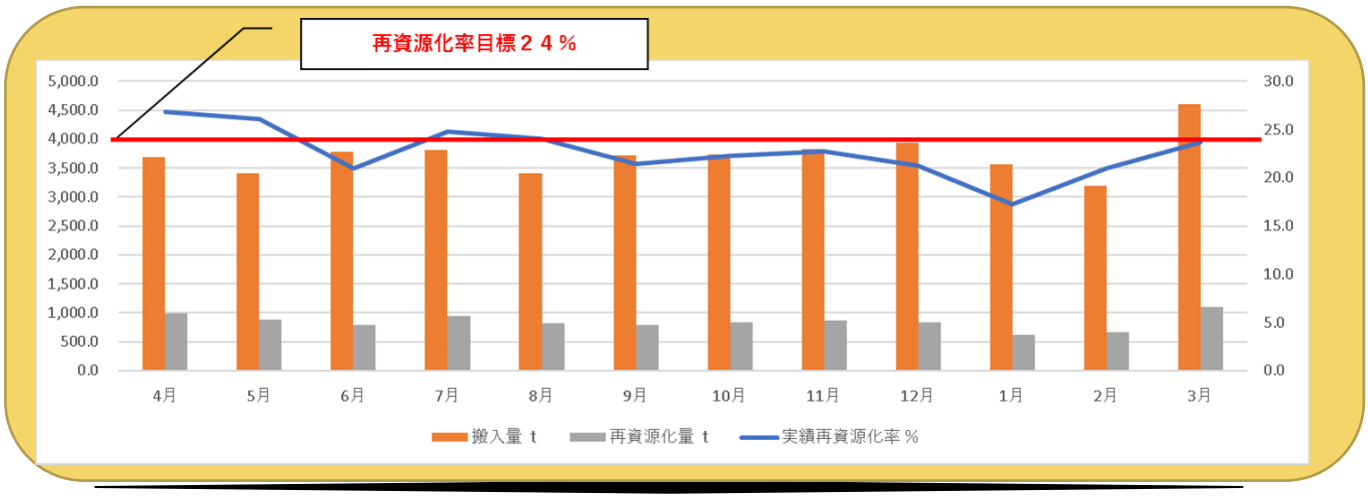
C

再資源化 24%以上達成の主要な品目【木くず】の搬入に左右される事もあり、未達成の月が多かったですが、その他の品目で石膏ボード回収に関しては、10 月以降、教育、改善を行い著しく変わりました。次年度は数字にでると思われます。

アクション（行動・改善）

A

新たに石膏ボード、木くず再資源担当者を決め、回収率向上に向けて取組みます。選別場所の改善やその場で都度選別量が計量できるように、重機に計量器を付け、どれだけ抜き取り再資源となるのかの見える化と同時に従業員のやる気にも繋げる取組みを行っていきます。



【その他の環境活動報告】

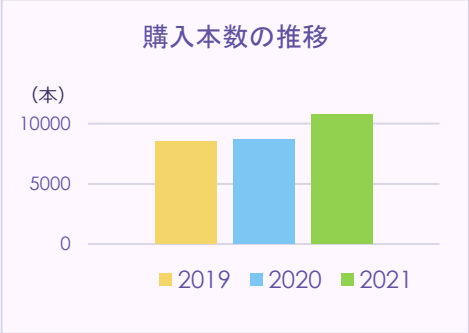
防災備蓄用缶パン【救缶鳥】今年も購入

「防災備蓄品」と「救援物資」という二面性を兼ね備えたステキな災害用備蓄缶パン【救缶鳥】♡を今年も 1 箱購入しました！
賞味期限は 3 年、2 年半経過すると未利用の缶パンは、災害被災地や、NGO 団体を介して世界の飢餓に苦しむ人々を救う食料として海上コンテナで届けてもらっています。
㈱神戸ポートリサイクルでは、災害避難用リュックに【救缶鳥】を常備し、非常事態に備えています。

缶パン【救缶鳥】には 3 種類の味があり、食べ終わった空き缶は現場で食器としても使用できるようになっています！

寄付型自動販売機　好調

2019 年に設置した寄付型自動販売機。
マイボトルドリンク推進ではありますが、毎月 1 人 1 本購入を目標に協力を呼び掛けています。
寄付先は近隣の小児病院。
飲料メーカーさんより企業向けのドリンクチケットの提案等もあり購入促進に繋げています。
「缶ジュース　何気に買って　何気に貢献」



環境ラリー2021 年度上位入賞者

令和４年４月

地域の皆さまへ

神戸市立義務教育学校
須磨学園
小学部 PTA

ベルマーク収集活動のお礼とご報告

いつもベルマーク収集にご協力いただき、ありがとうございます。
令和２年度、３年度中、皆さまとともに集められましたベルマーク点数は、85,500 ぷとなります。このご協力のおかげで、「Jr サッカーゴール」と「高圧洗浄機」を購入することができました。
誠にありがとうございます。

またこの度、これまでに港湾学園で集められたベルマークの総点数が１００万点を超え、公益財団法人ベルマーク教育助成財団より感謝状のたてが贈られました。これまでベルマークの寄付や集計にご協力いただいた皆さまのおかげです。ありがとうございました。
感謝状は、小学部正面玄関に展示しています。※下方に画像掲載

今後も、子どもたちのために役立つ物が購入できるよう、ベルマーク収集活動を行っていきたいと思います。
これからも活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

いただいた感謝状

近隣小学校からのお礼状

誰にでも簡単に取り組める 14 項目の環境活動をラリー形式にして、毎年 6 月の環境月間にランク表彰。
今年の上位入賞者で記念撮影　パシャ
環境経営活動にシフトして、まずはできる事から。

環境ラリーの取組み項目の 1 つに【ベルマークを集めて地域に貢献】があります。
2022.7.11 に今年も従業員全員で集めたベルマーク 3503.1 点を寄付させていただきました。
今年は小学校より、集まったベルマークで「Jr サッカーゴール」「高圧洗浄機」が購入できたとお礼状が届きました。（左下写真）
ベルマークでこんなもん買えるんや！と従業員一同驚きと喜びを感じました。
このベルマークの収集はサステナブルな取組みとして続けて行きます。

みどりの活動 PDCA

プラン（計画）　みどり豊かな事業所作りに取り組む

P

① 清掃イベントの参加。
② ウェルカム花壇のお手入れ・季節に応じた草花の栽培管理
③ 月に１回以上のクリーンデーの実施、場内外の美化推進
④月１回の委員会実施　⑤清掃イベントへの参加　⑥グリーンカーテン作成

ドゥ（実行）

D

年度初めは、コロナでの制限が多く、清掃イベントは未実施に終わりました。
みどりの委員でできることから！をモットーに、自社花壇の整備に力を入れ、四季のお花の植え付けやイベントの飾りつけお客様を迎えるウェルカム花壇を華やかに演出しました。

・夏に購入したハイビスカスを秋に剪定して越冬チャレンジしました！
・年明けには入口に設置するプランターを作成しました！
・３月にはペットボトルで、ハンギングに挑戦しました！
　毎月行っているクリーンデーでは会社周辺のゴミ拾いも昨年同様回数を増やし実施しました。

チェック（確認）

C

コスモスを植えたが、なぜかすぐに枯れてしまったり、秋に剪定したハイビスカスは葉はたくさんでてきましたが、花は咲かず失敗？！と試行錯誤しながらの取組みでしたが、委員のメンバーも新たに若いメンバーで編成し色々チャレンジした一年でした。
新プランターも作成し、植える花の量が増えましたので、もっともっと華やかなウェルカム花壇にしていきます。

アクション（行動・改善）

A

２か所ある花壇のうち１か所の花を一掃して春からは野菜に切り替えて、花と野菜のウェルカム花壇に変更しました。
継続して季節に応じた草花・野菜の栽培、クリスマスや年末の飾り付け等を行っていき、華やかな花壇でお客様をお迎えできる事業所づくりに貢献します。

みどりの委員新メンバーには管理しやすい多肉植物を栽培してもらい、社内にレイアウト

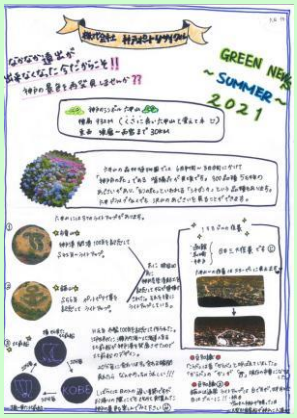
事業所に植えているパンジーを摘み取って花手水に。とてもきれいです

場内外の美化緑化　「クリーンデー」

昨年から続くコロナ禍で外部イベント等が少ない為、毎月実施している【クリーンデー】では自社周辺の清掃活動の回数を増やし実施しました。（9 回/年※植栽剪定含む）

2.3 ヶ月でこんなにどっさり！

みどりの機関紙　「グリーンニュース」



社内外に発信するみどりの機関紙『Green News』
エコアクション認証取得から継続して続いている情報機関紙。
今期は 4 シーズンで四季折々のテーマにして発行しました。

みどりの教育　「おもしろ漢字クイズ」

毎年、年に一度みどりの委員で実施される【みどりの教育】。
今年は草花にちなんだ【おもしろ漢字クイズ】で花やみどりに少しでも興味を持ってもらおうと参加型クイズ形式で実施しました。

場内外の美化緑化　「DIY プランター」

ペットボトルを再利用したハンギングプランター＆木製プランターを作りました。
見栄えよく、そしてより一層華やかになるようにと、みどりの委員の自信作！　そこに、社長自らお花の植え付けを行っています。

DIY プランター　作成風景

【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに販促、訴訟の有無】

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局等からの苦情・違反等の指摘もなく、過去 3 年間訴訟もありません。

関連する法令の一部

適用される法規制	要求実施事項
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬 中間処理 一般廃棄物中間処理
計量法	計量器の法定検査、計量証明事業者報告
大気汚染防止法関連 兵庫県条例	設置届出（条例指定施設）
消防法	指定可燃物等の届出、防火設備等、点検 防火対象物等、点検届出　など
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器等（重機含む）簡易点検･法令点検
労働基準法	36 協定届出等
労働安全衛生法	粉塵濃度測定、照明設備の点検および照度測定 ストレスチェックシートの提出等
金属くず商･古物商	届出及び変更届出の提出

私たちは、コンプライアンスの遵守に努めます！

【緊急事態対応訓練】

緊急事態の想定： 敷地内での火災発生対応訓練

実施日：2021/11/24　PM 12:00	実施場所：㈱神戸ポートリサイクル内
参加者：全従業員	実施内容：シナリオに沿い通報・避難・消火訓練
評　価：〇	シナリオの変更の必要性　□あり　☑なし

従業員で作成したオリジナルのシナリオを元に火災避難訓練を毎年実施しています。
マンネリ化防止の為、今年度はシナリオ作成者を変更して実施しました。

実施状況の様子

普段使うことのない、担架や消防器具の取扱を把握することができた。
有事の際にも従業員全員が慌てることなく判断・行動します。

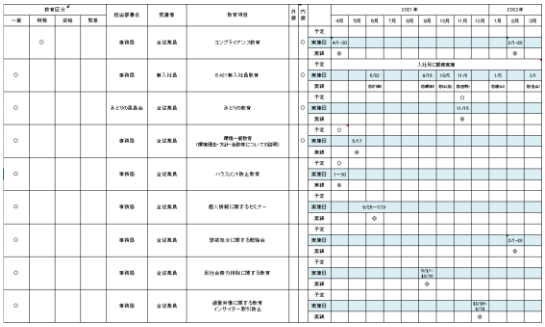
緊急事態の想定：収集運搬時、廃棄物からの飛散

実施日：2021/5/19、28　PM 17:00	実施場所：㈱神戸ポートリサイクル会議室
参加者：搬出・収集運搬グループ	実施内容：座学教育
評　価：〇	シナリオの変更の必要性　□あり　☑なし

確実なシート掛けや固縛をしていないことがどのような事故に繋がるか再認識につながりました。

実施状況

グループの教育資料『シート掛けと外し作業』を
テキストとして使用し、飛散養生のためのシート掛けの
基本的なやり方や注意点を説明しました。
合わせて、正しいシート掛けや固縛の説明動画を視聴しました。



教育年間スケジュールの一例（事務局担当分）

※各グループ毎、年間スケジュールに沿って教育を行っております。

2021 年度実施教育件数：事務局 9 件

総務・業務グループ　6 件

収集・搬出グループ　6 件

マテリアルグループ　12 件

【教育関連】

総務・業務Gr「処理施設に関する教育」

営業部による教育風景

総務・業務 Gr

新破砕処理施設の始動に伴う自社処理方法変更（許可証・契約書・発注書・ﾏﾆﾌｪｽﾄ等）に関する教育を実施。(写真左上)

その他、毎月「My SDGs」と題し各自が行っているSDGｓに繋がっている行動や情報共有を行いました。（教育資料左下）

年間実施教育 6 件

収集・搬出運搬Gr「運搬時の火災対応訓練」

収集運搬 Gr

作業標準の見直しを行い、今一度全員で手順の確認をしました。

車両火災の際の対応に加えて、シートをしている状況下での消火対応について教育を行い、改めて理解を深める教育としています。（写真上）

年間実施教育 6 件

マテリアルGr「選別時、不適物混入による火災対応」

配電設備電気事故に関する教育
DVD を視聴

廃棄物からの飛散防止対策
訓練の様子

マテリアル Gr

作業標準書（緊）の改定に伴う教育を都度行い安全作業の遵守・強化に努める教育を主に実施しております。

その他、破砕機からの火災対応・油脂流出時対応教育等。

年間実施教育 12 件

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

環境関連法規等の遵守状況、教育・訓練の実施、内外部コミュニケーションの実施等、環境活動計画に沿って PDCA サイクルのもとすべて実施され前年同様にエコアクション 21 の取組みに対する適切性・妥当性に特に問題はないと判断します。

前期にすべての取組項目に対する目標値見直しを図り厳しい目標値となりチャレンジの年ではありましたがやはり未達成項目が多くありました。

しかしながら、是正・改善措置を各担当者が創意工夫したアクションは高く評価いたします。

新たに破砕選別及び処理前施設が運用開始となり、設備の変更によるデータ収集は必須となります。これを基に次年度の目標値の見直しを行い、今後も更なるステップアップを図り活動を推進させましょう。

代表取締役　兼任　環境管理責任者　寄尾　延夫

環境経営方針	☑変更なし	□変更あり
環境経営目標	□変更なし	☑変更あり
実施体制	☑変更なし	□変更あり

リサイクルで 未来 くる

recycle for our future

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

エコアクション21